

加須市地域福祉計画（第2次）・

地域福祉活動計画の進行管理調書

【平成30年度の実績と評価】

令和元年8月

目 次

- 1 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画の状況報告について・・・・・・・・・・ 1
- 2 平成30年度 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画の進捗状況について・・ 1
- 3 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画進行管理表【平成30年度】・・・・・・・・ 2
- 4 加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）
 - 基本目標1 とともに支え合い・助け合う人づくり・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - 基本目標2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - 基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
 - 基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり・・・・・・・・・・・・ 15

◎加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画の状況報告について

「加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画」（平成29年度～令和3年度）は、これまでの地域福祉分野における取組等を踏まえ、市民一人ひとりが住み慣れた地域で安全・安心に暮らせるよう、「ともに生き、ともに支え合うまち かぞ」という基本理念を掲げ、地域全体が協働して福祉活動に取り組むための指針として、市の「地域福祉計画（第2次）」と、地域福祉推進における民間組織の中心的な担い手である社会福祉協議会が、地域福祉の活動・行動を定める「地域福祉活動計画」とを、一体的に取りまとめ策定したものです。

本計画を総合的・計画的に推進するためには、計画の進捗状況について、定期的に調査・把握し、その達成状況を確認していく必要があります。

そのため、計画策定時に設定した目標値などをもとに、各年度においてその実施状況を確認し、着実な推進を目指していきます。

なお、この報告は、本計画「第5章 計画の進捗管理・評価」に基づき公表するものです。

◎平成30年度 加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画の進捗状況について

加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画は、市が市民と協働して、地域で行う取組の方向性や基本的な考え方を示し、今後、施策を展開、推進していく上での基本的事項を定める役割を担うと同時に、地域の人々が抱えているさまざまな福祉課題を地域全体の問題としてとらえ、皆で支え合い、学び合いながら、その人らしく住み慣れた地域で暮らせることを目指して、地域、行政、関係機関・団体と連携しながら、各種の地域福祉活動を展開していくための指針となっています。

本計画期間の2年目である平成30年度は、「目標達成済事業」及び「概ね順調な事業」は、計画内事業全体の約61.5%という結果になりました。

そのほかの約38.5%は「やや遅れている事業」及び「大幅に遅れている事業」であることから、今後十分な成果が得られるよう、懇話会委員の皆さんなどから広く意見をうかがいながら、更なる事業の推進を図ってまいります。

加須市地域福祉計画（第2次）・地域福祉活動計画進行管理表【平成30年度】

1 個別評価基準

評 価		評価基準
1	達成済	30年度の実績値が目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成した。
2	概ね順調	30年度の実績値が目標値の80%以上に達した。
3	やや遅れている	30年度の実績値が目標値の80%未満となった。
4	大幅に遅れている	30年度の実績値が目標値の50%未満となった。
5	未着手	何らかの理由により、事業の着手が出来なかった。

2 個別評価結果①

施策	単位	1	2	3	4	5	合計
基本目標1 ともに支え合い・助け合う人づくり	件数(件)	3	1	1	1	0	6
	割合(%)	50.0	16.7	16.7	16.7	0.0	100.0
基本目標2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり	件数(件)	1	1	4	0	0	6
	割合(%)	16.7	16.7	66.7	0.0	0.0	100.0
基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり	件数(件)	3	1	2	1	0	7
	割合(%)	42.9	14.3	28.6	14.3	0.0	100.0
基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり	件数(件)	6	0	1	0	0	7
	割合(%)	85.7	0.0	14.3	0.0	0.0	100.0
全 体	件数(件)	13	3	8	2	0	26
	割合(%)	50.0	11.5	30.8	7.7	0.0	100.0

■は評価の最も多いもの

2 個別評価結果②

基本 目標	基本施策	目標指標名	進捗状況				事業名
			達成 済	概ね 順調	やや 遅れ	大幅 遅れ	
1 ともに支え合い・ 助け合う人づくり	1 地域福祉の意識の 向上	市民学習カレッジの受講者数	●				市民学習カレッジ事業
		地域福祉及び社協会員増強に関する懇談会の開催回数			●		会員増強事業
	2 地域の担い手の 育成	ボランティア体験プログラム参加者数	●				ボランティア体験学習事業
		「就学前子育て支援講座、親の学習講座、家庭教育学級」の延べ参加者数		●			家庭の学びと地域の絆推進事業
	3 地域活動・ボランティア 活動等の充実	地域市民活動団体数	●				地域市民活動促進事業
地域通貨発行事業・サポーター登録数 (高齢者や障がい者、育児中の方など日常で困っている方をお手伝いする「おたすけサポーター(有償ボランティア)」の登録者数)					●	地域通貨発行による地域福祉サービス支援事業	
2 健やかにいきいきと 暮らせるまちづくり	1 健康づくりの支援	体力年齢若返り (筋力アップトレーニング事業における体力測定の結果)	●				筋力アップトレーニング事業
		こころの健康相談利用率 (こころの健康相談利用者数÷こころの健康相談枠数×100)			●		こころの健康づくり事業
	2 地域医療・保健・福祉の 体制強化	地域医療連携ネットワークに参加する市民の数			●		地域医療ネットワーク(とねっと)事業
		健康診査受診率((受診者数÷対象者数)×100)		●			後期高齢者健康診査事業
	3 スポーツ・ レクリエーションの推進	スポーツ教室参加者数			●		スポーツ教室等開催事業
		総合型地域スポーツクラブの設置数			●		総合型地域スポーツクラブ育成事業

基本 目標	基本施策	目標指標名	進捗状況				事業名
			達成 済	概ね 順調	やや 遅れ	大幅 遅れ	
3 安心して暮らすことができるまちづくり	1 支援を必要とする方の把握と支援	自立支援計画達成率(生活困窮者)				●	生活困窮者自立相談支援事業
		権利擁護講座開催件数	●				権利擁護事業
	2 地域の見守り活動や交流活動の充実	ふれあいサロン設置数	●				ふれあいサロン事業
		敬老会参加率			●		敬老会開催事業
	3 防災・防犯体制・交通安全対策の推進	自主防災組織の組織率 (加入世帯数/組織されている地域の世帯数×100)	●				自主防災活動組織育成・支援事業
		自主防犯組織の組織率(自治協力団体数ベース)		●			自主防犯活動組織育成・支援事業
	公立小学校における子ども自転車運転免許事業の実施率 公立中学校における中学生交通安全講習会の実施率 参加・実践型の高齢者交通安全教室の参加者数			●		交通安全啓発事業	
4 福祉やサービスが利用しやすい仕組みづくり	1 相談支援・情報提供の充実	各相談支援事業所への相談件数(加須市民)	●				障害者相談支援事業
		市のホームページの月平均閲覧件数	●				ホームページ・SNS活用事業
	2 高齢者、障がい者、子育て支援サービス等の充実	民間保育所定員数	●				民間保育所運営委託事業
		公立保育所入所待機児童数	●				公立保育所管理運営事業
		産後支援ヘルパー派遣事業利用者実人数	●				産後支援ヘルパー派遣事業
	3 地域福祉の仕組みづくり	地域ケア個別会議の開催回数	●				地域ケア会議推進事業
地域ブロンズ会議(第2層)の設置区域数(累計)				●		地域ブロンズ会議事業	
			13	3	8	2	

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標1 ともに支え合い・助け合う人づくり

基本施策1 地域福祉の意識の向上

【評価】は5段階評価（1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	30年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	市民学習カレッジの受講者数 (人)							
1	市民学習 カレッジ事業	【目的】 市民一人ひとりの生涯学習を通じた学習参加のきっかけづくりと学習活動を支援するため、市全体を対象として生涯学習の広がりや深まりを求めた学習機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> 市民学習カレッジセミナーの実施 加須市生涯学習市民企画委員会の開催 かぞ生涯学習フェスティバルの開催 市民学習カレッジ募集号（ライフステージ）の発行 	1 達成済	指標(単位)	市民学習カレッジの受講者数 (人)						<ul style="list-style-type: none"> 市民の関心の高いセミナーの回数や定員等について検討を行い、参加者数の増員を図る。 生涯学習市民企画委員会において企画したセミナーを、加須地域以外の地域の担当セミナーとしても開催する。 	
	生涯学習課	【概要】 ・公民館、文化・学習センター等と連携を図り、市民講師や市内講師、市内全域の会場を活用し、趣味的教養的セミナーや現代的、社会的課題を取り入れた総合的な幅広いセミナーを実施。 ・全市民対象のセミナーを毎年度4月に概ね60セミナーを募集、開講。 ・生涯学習を循環させるための、生涯学習フェスティバルなどのイベント等を開催する。			年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)		
					目標	—	3,900	3,950	4,000	4,050	4,100		
					実績	—	3,189	4,144					
					【評価の理由】 計画した63セミナーのうち、58セミナーを開催した。各地域の市民が様々な会場で受講し、公民館や文化・学習センター等と連携し実施した。幅広いセミナーによる生涯学習を通じて、地域の方との交流が深まるとともに、地域福祉の向上に繋がった。また、ボランティア(加須市生涯学習市民企画委員)のセミナー時の積極的活用を図った。セミナー修了生のサークル化は、58セミナー中11セミナーとなった。								
2	会員増強事業	【目的】 ともに支え合い、助け合う福祉の街づくりを目指して、社協会員の増強を目的とする。	<ul style="list-style-type: none"> 5月に北川辺、大利根支所がそれぞれの地域の自治会長を招き、会費説明会を開催。 6月に加須支所が、地域の社協9支部を招き、会費説明会を開催。 6月に騎西地域の社協5支部が、それぞれの地区の自治会長を招き、会費説明会を開催。 4月から9月にかけて、加須、三俣、大越の3地区の会合に、加須支所事務局職員が出向き、会費をはじめとする募金や社協事業について説明。 	3 やや遅れている	指標(単位)	地域福祉及び社協会員増強に関する懇談会の開催回数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> 社協会員増強運動期間(5月～7月)に限らず、通年で会費について説明する機会を設ける。 地域で開催される社協支部会議や自治会の会合に、事務局職員が積極的に出向き、社協会費と社協事業について協力と理解を求めめる。 会費の使途についても情報を開示し、その有効活用について、市民の意見を求める。 社協会員増強運動用に作成したパンフレットや、展示パネルを有効活用する。 	
	社会福祉協議会	【概要】 自治会、支部社協等地域の協力を得てPRし、会員の増強に努める。			年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)		
					目標	—	16	16	16	16	16		
					実績	—	11	11					
					【評価の理由】 加須地域は、社協支部を通じて、会費協力を地域の自治会に依頼。騎西、北川辺、大利根地域は、それぞれの社協支所(事務局)が、直接、自治会に会費協力を依頼。会費協力を説明する機会が、会員増強運動期間(5月～7月)に集中している。年間を通じて、会費とそれを財源に実施している事業を説明する機会を増やし、社協に対する協力と理解につなげる努力がさらに求められている。その際、社協会員増強運動用に作成したパンフレットを有効活用する。								

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標1 ともに支え合い・助け合う人づくり

基本施策2 地域の担い手の育成

【評価】は5段階評価（1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	30年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	ボランティア体験プログラム参加者数 (人)						
3	ボランティア 体験学習事業	【目的】 ボランティア体験学習や講座 を通し、福祉に対する理解と関 心を深め、思いやりの心を持っ て助け合う態度を育て、共に生 きる人間の育成を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> ・対象：小学生から大人 まで夏の「ボランティア 体験事業」を実施。 ・通年講座として傾聴講 座やこころの健康講座 (対象者：小学生～大 人)の実施。 ・ボランティア団体（視 察研修、学習会）への支 援。 ・ボランティア交流（双 葉町民との交流） 	1 ・ 達成 済	指標(単位)	ボランティア体験プログラム参加者数 (人)						本事業は、夏休みを中心 に行なっている講座と通年 講座の2つに分けられる。 夏休みの講座は、児童・学 生の参加が多く盛況である が、社会人やシニア世代が 中心の通年講座は、新規参 加者がなかなか増えない。 ボランティア団体の後継者 が不足しているなどまだまだ 改善の必要がある。地域 共生社会の実現に向け、全 世代が、それぞれの立場で 活躍できる魅力的な活動や 講座を取り入れる中で、通 年講座の充実発展を図って いきたい。
	年度	28年度			29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)			
	目標	—			300	300	300	300	300			
	実績	—			433	495						
社会福祉協議会	【概要】 ボランティア体験、育成、研 修の実施。	【評価の理由】 県全域で取り組んでいる事業で、県社協でもポスターやチラシを作成し 県内の公立学校に配布する等、児童・学生の積極的な参加を促してきた。 加須市社協でも児童・学生の興味関心が高いプログラムを用意し、参加者 を増やす努力をしてきた。その結果、目標指標を大きく上回る成果を上げ ることができた。										
4	家庭の学びと 地域の絆推進 事業	【目的】 家族・地域の絆づくりの一層 の推進のため、「家庭の教育 力」と「地域の教育力」の向上 を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・絆啓発講座「就学前子 育て講座」「親の学習講 座」「家庭教育学級」の 内容充実実施（各公民 館、各文化・学習セン ター） ・市民まつり等のイベン トを活用した絆運動のPR ・関係団体との連携によ るポケットティッシュの 配付 ・加須市あいさつ運動 	2 ・ 概 ね 順 調	指標(単位)	「就学前子育て支援講座、親の学習講座、家庭教育 学級」の延べ参加者数 (人)						・就学前子育て講座、親の 学習講座、家庭教育学級講 座等の内容充実を図り、多 くの保護者の参加を可能と する。 ・生涯学習、学校教育のそ れぞれを通して、家庭教育 の支援を進めていく。 ・家族の絆を推進するため に、継続した取組みを行 う。 ・地域により、実施内容が 異なるため、実施内容の統 一を検討する。
	年度	28年度			29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)			
	目標	—			2,065	2,115	2,165	2,215	2,265			
	実績	—			2,059	1,989						
生涯学習課	【概要】 ・家族や地域の絆を深めるため に「就学前子育て講座、親の学 習講座、家庭教育学級」を子育 て中の保護者を対象に開催する など、子どもと親の育ちを応援 する学びの機会を充実する。 ・関係団体と連携して絆づくり 啓発品を配付しながらあいさつ 運動を継続する。	【評価の理由】 ・各公民館、文化・学習センターで事業計画に基づき実施する家庭教育学 級の開催は予定通り実施したことにより、目標としていた延べ参加者数に ついては、概ね順調に達成し、家庭教育を推進することができた。										

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標1 とともに支え合い・助け合う人づくり

基本施策3 地域活動・ボランティア活動等の充実

【評価】は5段階評価（1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	30年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	地域市民活動団体数 (団体)						
5	地域市民活動 促進事業	【目的】 協働によるまちづくりを推進 するために、市民の自主的・主 体的な活動を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の成長に合わせた地域市民活動支援補助金の交付（5団体） ・NPO法人設立認証等事務の実施（新規認証は0件だが、新規認証に向けた相談あり） 	1・達成済	指標(単位)	地域市民活動団体数 (団体)						<ul style="list-style-type: none"> ・市民活動ステーションにおけるボランティア情報の受発信及び活動内容の充実を図る。 ・市民活動支援補助制度交付条件や審査基準等の見直しを検討する。
	市民協働推進課	【概要】 ・市民の自主的、主体的な地域市民活動への参加を促進し、協働によるまちづくりを推進する。 ・「まちづくりネットワーク・かぞ」との協働運営に基づき、市民活動ステーションを拠点とした市民活動への参加促進を図る。 ・地域市民活動支援補助金を活用し、団体の育成及び自立支援を行う。			【評価の理由】 地域市民活動団体数が目標に達したため。	年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	
目標	—	70	72	74	76	78						
実績	—	80	79									
6	地域通貨発行 による地域福祉 サービス支援 事業	【目的】 地域の支え合い（共助）や高 齢者の生きがいづくりを推進す るとともに、高齢者福祉の充実 を図る。併せて地域商業の振興 を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ちょこっとおたすけ絆サポート事業の運営支援、利用促進、運営費一部助成 ・市内（福祉部等）・加須市商工会との連携による事業のPR（取扱店・おたすけサポーター募集など）、連携連絡会議での情報交換 ・絆サポート券取扱店ステッカーの作成を支援 	4・大幅に遅れている	指標(単位)	地域通貨発行事業・サポーター登録数 (高齢者や障がい者、育児中の方など日常で困っている方をお手伝いする「おたすけサポーター(有償ボランティア)」の登録者数) (人)						<ul style="list-style-type: none"> ・絆サポート券の利用拡大のための方策を検討する。（各課活用のための調査の実施。分析把握） ・地域にあった新たな絆サポート体制づくりの支援を行う。 ・利用会員及びサポーターの拡大支援を行う。 ・取扱店の拡大支援を行う。 ・商工会における効率的な事務執行体制の確立を支援する。 ・商工会との連携による事業者・企業への絆サポート券活用促進を図る。
	商業観光課	【概要】 ・生活支援を必要とする方をサポートして謝礼として受け取る「絆サポート券(500円)」を市内で流通させ、地域商業の振興を図る。			【評価の理由】 加須市商工会、加須市経済部・福祉部及び加須市社会福祉協議会と連携して本事業を実施している。サポーター登録実績値は目標値に届かなかったため左記の評価とする一方で、おたすけサポーターの活動時間や絆サポート券販売枚数、利用会員数はともに増加し、事業自体は順調に推移している。	年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	
目標	—	190	200	200	200	200						
実績	—	91	92									

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

基本施策1 健康づくりの支援

【評価】は5段階評価(1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	30年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	体力年齢若返り (筋力アップトレーニング事業における体力測定の結果) (歳)					
7	筋力アップ トレーニング 事業	【目的】 生活習慣病と介護予防の支援を充実させ、医療費の削減効果を目的とし、健康でいきいきと暮らせる健康長寿社会を目指す。	<ul style="list-style-type: none"> 第16期生募集 加須地域、大利根地域での開催 第16期生の参加者を自主活動へつなぐ支援 筋トレ修了生のトレーニングサポーター養成 自主活動グループ活動の後方支援 	1 達成済	指標(単位)	体力年齢若返り (筋力アップトレーニング事業における体力測定の結果) (歳)					<ul style="list-style-type: none"> 新規生の会場は加須保健センター、大利根保健センターを利用していく。 修了生に対しては、職員の巡回支援、固定式自転車の維持管理、代表者会議の運営や研修など、運動を継続できるような支援をハード・ソフトの両面から行う。
	年度	28年度			29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)		
	健康づくり推進課	【概要】 概ね50歳以上の参加希望者に対し、筋トレ健康診査による運動可否判定を行い、運動が可能なる方を対象に体力測定を実施する。 個別運動プログラムに基づき、筋力トレーニングとエアロバイクなどの有酸素運動を取り入れたトレーニングを週1回開催する。 筋トレ修了生の後方支援も実施している。			【評価の理由】 体力年齢の若返りについて目標を上回ることができたため。						
8	こころの健康 づくり事業	【目的】 市民が心身ともにより健康的な生活を送れるよう、心の健康づくりを推進し、精神疾患や自殺の予防を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 「加須自殺対策計画」の策定 こころの健康相談の実施(精神科医師、臨床心理士による相談) 市民相談室と連携し、合同相談日に臨床心理士による相談の実施 自殺予防に関する啓発 こころの体温計の実施 こころの体温計に新サイト(睡眠障害チェック)の追加 こころの健康相談等の広報・周知 	3 やや遅れている	指標(単位)	こころの健康相談利用率 (こころの健康相談利用者数÷こころの健康相談件数×100) (%)					<ul style="list-style-type: none"> こころの体温計のさらなる活用促進に向けて周知する。 こころの健康相談の活用促進を図るため、市民や関係者に周知する。 市民相談室と連携し、合同相談に臨床心理士の相談を実施する。 自殺予防に関する啓発(ゲートキーパー研修等)を実施する。
	年度	28年度			29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)		
	健康づくり推進課	【概要】 精神科医師や臨床心理士へ相談する機会を提供する。 自殺予防に関する啓発を行う。 関係機関と連携し訪問指導を実施する。			【評価の理由】 市のホームページにこころの体温計の掲載を継続するとともに、手軽に利用できるよう個人用携帯端末にダウンロードできる仕様とし、こころの健康づくりへの意識づけに努めるとともに、こころの健康相談の周知に努めた。しかし、こころの相談の利用率が計画値に達しなかった。						

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

基本施策2 地域医療・保健・福祉の体制強化

【評価】は5段階評価(1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	30年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	地域医療連携ネットワークに参加する市民の数 (人)						
9	地域医療 ネットワーク (とねっと) 事業	【目的】 地域の限られた医療資源を効率的・効果的に活用し、中核病院と病院・診療所が医療情報を共有することで、市民へ質の高い医療サービスを提供でき、地域全体で市民の医療を完結する「地域完結型医療」を実現する。	<ul style="list-style-type: none"> 協議会事務局費の負担 協議会事務局の支援 新システムの稼働 中核病院と病院・診療所との医療情報の双方向化 歯科医療機関・調剤薬局の参画 「とねっと」カードのICチップ化 システムの普及・啓発 利根保健医療圏域外の住民及び医療機関の「とねっと」参加に向けた協議 	3 ・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)	地域医療連携ネットワークに参加する市民の数 (人)						新たに歯科医療機関と調剤薬局が「とねっと」に加わったことで、幅広い医療連携ができるようになったため、市民がより質の高い医療サービスを受けられるシステムとし、また、利根保健医療圏域外の住民及び医療機関も含め加入促進に努め、救急面での更なる活用を図る。
					年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)	
					目標	—	17,950	20,300	22,650	25,000	25,000	
					実績	—	13,384	13,975				
					【評価の理由】 事務局のシステム更新作業を支援することで平成30年度から新「とねっと」を稼働することができ、また、普及啓発により参加者数を着実に増加させることができたが、目標を達成することはできなかった。							
10	後期高齢者健康 診査事業	【目的】 元気な高齢者を支援するため、広域連合から委託された健康診査費用の一部を助成し、後期高齢者の負担を軽減する。	<ul style="list-style-type: none"> 制度加入者への受診券配布(4月下旬) 医療機関への委託による後期高齢者の健康診査の実施(12月第3土曜日) 健康診査結果の通知 受診勧奨ハガキの郵送 	2 ・ 概 ね 順 調	指標(単位)	健康診査受診率((受診者数÷対象者数)×100) (%)						公共施設へののぼり旗の設置等によりPRに努めるほか、未受診者への受診勧奨はがきの発送、かぞ健康マイレージの必須項目の1つに位置付けることにより受診を促していく。
					年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)	
					目標	—	29	31	33	35	35	
					実績	—	25.4	24.8				
					【評価の理由】 受診率が目標値を下回ったが、取組を円滑に実施することができた。							
10	健康づくり推進 課	【概要】 健康診査費用のうち、被保険者の自己負担分(1割相当額)及び健診項目の上乗せ分(貧血、心電図)を補助する。										

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標2 健やかにいきいきと暮らせるまちづくり

基本施策3 スポーツ・レクリエーションの推進

【評価】は5段階評価(1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	30年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	スポーツ教室参加者数 (人)						
11	スポーツ教室等 開催事業	【目的】 健康の保持増進や体力の維持 向上を目指し、スポーツを通し て仲間との交流を図るととも に、生きがいづくりや交流によ り人と人との絆を深める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ピラティス ・小学生硬式テニス教室 ・小学生スキー教室 ・ヨット&カヌー教室 ・小学生水泳教室 ・体験型ニュースポーツ 教室（フロアカーリン グ） 	3 ・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)	スポーツ教室参加者数 (人)						教室の種類、募集方法、時 期などを検討し、引き続 ぎ、市民がスポーツしやす い教室を開催し、市民のス ポーツの関心を高める。
	年度	28年度			29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)			
	目標	—			840	860	880	900	920			
	実績	—			677	626						
スポーツ振興課	【概要】 市民のスポーツへの関心を高 めるため、スポーツ教室を開催 する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨガピラティス教室 ・小学生水泳教室 ・小学生スキー教室 ・ヨット・カヌー教室 ・体験型ニュースポーツ教室 ・小学生硬式テニス教室 		【評価の理由】 スポーツ教室の参加者数は、前年度実績から減少し、目標値の8割に達 しなかったが、幅広い年齢層が各教室に参加した。バドミントン教室は、 開催最低人数に達していなかったため、開催できなかった。									
12	総合型地域 スポーツクラブ 育成事業	【目的】 多世代にわたる多くの市民が 地域で多様なスポーツを自由な 時間を楽しめる生涯スポーツの 振興を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ設立と自主的運 営の支援 ・指導者・スタッフ等の クラブ運営の核となる人 材の発掘及び育成 ・体育協会、スポーツ推 進委員協議会との連携 ・平成国際大学を利用し たクラブ設立に向け検討 をすすめている。 ・FCクラブ設立に向 け、検討を進めている。 ・FC KAZO 550 人 ・みずわスポーツクラブ 87人（H31.3解散） 	3 ・ や や 遅 れ て い る	指標(単位)	総合型地域スポーツクラブの設置数 (クラブ)						平成国際大学を利用したク ラブ設立に向け、関係する 平成国際大学教授や関係団 体などと検討を行う。
	年度	28年度			29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)			
	目標	—			3	3	4	4	4			
	実績	—			2	2						
スポーツ振興課	【概要】 既存のクラブに対して、指導 員の確保、新たな種目の増設、 会員増などに向け支援する。 新たなクラブの設立に向け て、説明会や研修会を開催す る。		【評価の理由】 会員数の減少により、平成31年3月に1団体解散した。残りの1団体につ いては、年々会員数は増えている。									

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり

基本施策1 支援を必要とする方の把握と支援

【評価】は5段階評価（1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	30年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	自立支援計画達成率（生活困窮者） (%)						
13	生活困窮者自立 相談支援事業	【目的】 ・生活保護に至る前の段階の生活困窮者の自立促進を図る。	・生活困窮者世帯が自立した生活が送れるよう、関係機関等と連携し、生活基盤の調整、就労支援を実施。	4 ・大幅に遅れている	指標(単位)	自立支援計画達成率（生活困窮者） (%)						・困窮状態が複雑化、深刻化する前に介入し、早期に支援が行えるよう、関係機関等との連携を密にする。 ・生活困窮者と生活保護受給者に対する就労支援について、一元的に支援する体制づくりを検討する。
					年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)	
					目標	—	100	100	100	100	100	
					実績	—	20	43				
生活福祉課	【概要】 ・生活困窮者に対し、面談や訪問を行っているほか、支援プランを作成し、適切なサービスにつなげるなどして自立した生活が送れるよう支援する。	【評価の理由】 生活困窮者に対し、関係機関と連携しつつ本人の希望に沿った支援プランを作成しているが、相談者の高齢化や相談内容の多様化・複雑化等により、計画と比較して自立に至る方がきわめて少なく、複数年にわたる継続相談・支援になる方が多いため。										
14	権利擁護事業	【目的】 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、権利侵害を受けている者とその家族に対する支援を適切に行う。また、身寄りがなく、自らの権利を護れない高齢者を支える体制を整える。	・権利が侵害されている高齢者に係る成年後見制度の相談対応等を実施 ・市民相談室、障がい者福祉課と共催して、加須市高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議を開催 ・成年後見制度に関する講座を開催。 ・高齢者虐待に関する通報の受付、事実確認、高齢者の保護等を実施	1 ・達成済	指標(単位)	権利擁護講座開催件数 (回)						・高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議での意見等をもとに、市民や事業者向けの啓発を行う。 ・長寿化に伴い、身寄りの無い高齢者が増えており、今後も相談が増えていくと思われることから、相談時に対応できる人員の確保と各種制度の整備が重要になってくる。
					年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)	
					目標	—	4	4	6	6	6	
					実績	—	4	4				
高齢者福祉課	【概要】 ・高齢者虐待等の権利侵害に対する個別支援を行う。 ・高齢者等虐待及び消費者被害防止ネットワーク会議等を開催し、関係機関との情報共有を図る。 ・高齢者虐待等の防止及び成年後見制度等に関する普及啓発を行う。 ・成年後見の市長申立て及び後見人等報酬に対する助成を行う。	【評価の理由】 高齢者相談センターや関係機関と連携し、多重問題を抱える世帯への相談支援や高齢者虐待を受けたと思われる高齢者の保護等を適切に行うことができたため。										

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり

基本施策2 地域の見守り活動や交流活動の充実

【評価】は5段階評価(1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	30年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	ふれあいサロン設置数 (箇所)						
15	ふれあいサロン 事業	【目的】 身近な場所に仲間との交流の 場を提供しおしゃべりや運動の 機会を増やすことで閉じこもり や認知機能の低下を予防する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新規ふれあいサロンの 開設と把握 ・サロンの継続活動支援 (集会所借上料一部負担) ・サロン担当者打ち合わせ の実施 ・シルバーとの連携によ るサポーター派遣 ・介護予防サポーターへ 謝金の支払い 	1 ・達成済	指標(単位)	ふれあいサロン設置数 (箇所)						<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度から、市と高 齢者相談センターで連携 し、ふれあいサロンの新規 開設を進めるとともに、活 動継続支援業務等を6箇所 の高齢者相談センターに委 託した。 ・介護予防サポーター及び シルバー人材センターが養 成する健康づくりサポー ターを担い手として、サロ ンの自主運営支援を行う。 ・サロン参加者数(実人 数)を高齢者人口の1割に まで増やすことを目指し、 サロンの新規設置と自主化 に向けた支援を行う。 <平成30年度未実績> サロン参加者実人数1, 5 58人(高齢者人口32, 317人)H31.4.1現在
					年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)	
	目標	—			97	101	105	110	115			
	実績	—			108	114						
高年齢福祉課	【概要】 高齢者の歩いていける場所 で、介護予防サポーターや地域 と協働し、高齢者の仲間作りや 活動の場を提供する。				【評価の理由】 ふれあいサロン設置数について目標を上回ることができたため。							
16	敬老会開催事業	【目的】 高齢者の長寿を祝い、健康な 高齢者の維持と生きがいの醸成 を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・加須地域は9月上旬か ら10月下旬にかけて、 9ヶ所で式典を開催。開 催日は9月11日、14 日、15日、16日、17 日、10月6日、21日。 対象者は8,520人。 ・騎西地域は9月下旬か ら10月下旬にかけて5ヶ 所で式典を開催。開催日 は9月30日、10月5日、 15日、17日、19日。 対象者は2,650人。 ・北川辺地域は9月17日 に式典を開催。対象者 1,756人。 ・大利根地域は10月6日 に式典を開催。対象者は 2,068人。 	3 ・やや遅れている	指標(単位)	敬老会参加率 (%)						<ul style="list-style-type: none"> ・対象者が毎年増え続けて おり、市補助金も含め、現 在の実施形態を存続できる のか懸念がある。 ・社協16支部が敬老会を 主催しているが、実施方 法、経費にばらつきがあ り、今後、統一化を図る必 要がある。その課題を解決 するため、社協支部長会 の代表者7人で構成される 事業差異調整委員会を組織し、 今後の敬老会のあり方を協 議する。 ・事業統一化への具体的 な取り組みとして、事業を 主催する各社協支部長が、他 地区の敬老会を視察し、支 部長会議で意見交換を行っ た。
					年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)	
	目標	—			77.1	77.1	77.1	77.1	77.1			
	実績	—			59.6	60.2						
社会福祉協議会	【概要】 社会福祉協議会主催の敬老会 に対し、補助金を交付し、各地 域において敬老会を実施する。				【評価の理由】 会場により参加率にばらつきがある。地区によっては、対象者全員を収 容できない会場を利用しているところもある。会場受付で記念品を引き換 える時間を延長する等、参加率向上に努力する必要がある。							

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり

基本施策3 防災・防犯体制・交通安全対策の推進

【評価】は5段階評価（1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	30年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	自主防災組織の組織率 (加入世帯数/組織されている地域の世帯数×100) (%)						
17	自主防災活動 組織育成・支援 事業	【目的】 自主防災組織の新規結成と既 存組織の活動を促進し、地域の 防災力の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織数:146団 体 ・H30新規設立:4団体 ・自主防災組織の新規結 成と活動支援(出前講座と 説明会の実施) ・設立までに要する経 費、防災用資機材の購入 経費及び防災訓練等経費 に対する補助金交付 (H30設立補助:1団体、 訓練補助:32団体、資機 材補助:24団体) ・防災活動に対する表彰 	1 ・達成 済	指標(単位)	自主防災組織の組織率 (加入世帯数/組織されている地域の世帯数×100) (%)						<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座や説明会及び研 修会を積極的に開催し、組 織率、訓練実施率の向上を 図る。 ・自主防災組織の防災訓練 等の活動を支援する。(出 前講座と説明会の実施) ・自主防災組織リーダー養 成講座を実施する。
					年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)	
	目標	—			77.8	80.6	83.4	86.2	89			
	実績	—			81.3	83.2						
					【評価の理由】 自主防災組織が新たに4団体設立され、目標値を上回ったため。							
18	自主防犯活動 組織育成・支援 事業	【目的】 市民が犯罪に巻き込まれるこ となく、安全で安心して生活が 送れるようにするため、防犯組 織の体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防犯組織数:134団 体(74.9%) ・H30新規設立:3団体 ・未設立自治協力団体へ の設立依頼 ・既存組織への実態調査 の実施 ・地域安全・暴力排除推 進大会における団体、個 人への感謝状贈呈 	2 ・概ね 順調	指標(単位)	自主防犯組織の組織率(自治協力団体数ベース) (%)						<ul style="list-style-type: none"> ・地域における防犯活動の 活性化を図るため、加須警 察署と連携し、講習会を実 施する。 ・自主防犯団体の組織及び 活動状況を把握するため、 定期的に調査を行う。 ・自主防犯組織未設立の自 治協力団体へ、引き続き、 危機管理防災課と連携し設 立依頼を行う。 ・自主防犯組織と自主防災 組織への補助金について、 危機管理防災課とともに見 直しを検討する。
					年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)	
	目標	—			74	76	78	80	82			
	実績	—			73.2	74.9						
					【評価の理由】 ・平成30年度、新たに3団体の自主防犯組織が設立した。 ・平成30年における加須市の犯罪発生状況 【犯罪発生件数】744件(前年比+66件)							
交通防犯課		【概要】 ・地域防犯力を強化するため、 自主防犯組織の結成及び活動を 支援する。 ・自主防犯組織への支援とし て、補助金を交付する。(設立: 上限50,000円、パトロール経費: 1年目2/3・上限30,000円、 2年目以降1/2・上限15,000 円) ・自主防犯組織設立を促すた め、連絡会議等の開催や活動の 促進を図る。										

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標3 安心して暮らすことができるまちづくり

基本施策3 防災・防犯体制・交通安全対策の推進

【評価】は5段階評価(1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	30年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標①(単位)								
19	交通安全啓発事業	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	・市立小学校4年生を対象に、子ども自転車運転免許事業を実施 実施時期：5～6月 対象児童数：940人	3 ・ やや遅れている	指標①(単位)	市立小学校における子ども自転車運転免許事業の実施率 (%)						・引き続き、市立小学校・加須警察署・各交通安全団体と連携し、小学生の交通事故を防止するため、子ども自転車運転免許事業を実施する。	
					年度	28年度	29年度	30年度(決算)	R1年度	R2年度	R3年度(目標年)		
					目標	—	100	100	100	100	100		
					実績	—	100	100					
					指標②(単位)	市立中学校における中学生交通安全講習会の実施率 (%)							
	年度	28年度	29年度		30年度(決算)	R1年度	R2年度	R3年度(目標年)					
	目標	—	100		100	100	100	100					
	実績	—	100		100								
	交通防犯課	【概要】 ・各種交通安全運動期間に交通安全の啓発を行う。 ・参加・実践型高齢者交通安全教室、子ども自転車運転免許事業、中学生対象の交通安全教室を実施する。 ・敬老会等各地域のイベントにおける交通安全啓発を実施する。 ・市民まつりの一環として市民、各種団体による市民パレードを実施する。	・市立中学校1年生を対象に、中学生交通安全講習会を実施 実施時期：10～11月 対象児童数：947人		・高齢者を対象に参加・実践型の高齢者交通安全教室を開催 ・開催月：4月、7月、9月、12月、1月	指標③(単位)	参加・実践型の高齢者交通安全教室の参加者数 (人)						・引き続き、市立中学校・加須警察署・各交通安全団体と連携し、中学生の交通事故を防止するため、中学生交通安全講習会を実施する。 ・参加・実践型の高齢者交通安全教室の参加者の募集方法や教室の実施内容などについて検討し、より多くの参加者を募集できるように改善する。
						年度	28年度	29年度	30年度(決算)	R1年度	R2年度	R3年度(目標年)	
目標				—		225	225	225	225	225			
実績				—		185	169						
【評価の理由】				【指標①「1. 達成済」】 ・市立小学校4年生を対象に、各交通安全団体と協働し、子ども自転車運転免許事業を実施できた。 【指標②「1. 達成済」】 ・市立中学校1年生を対象に、各交通安全団体と協働し、中学校交通安全講習会を実施できた。 【指標③「3. やや遅れている」】 ・年5回、埼北自動車学校や埼玉県防犯・交通安全課の協力のもと、参加・実践型高齢者交通安全教室を開催したが、参加者数が少なかった。									
※ 総合評価は、参加・実践型の高齢者交通安全教室の参加者数が、目標値の80%未満であり、高齢者の交通安全の啓発をより推進する必要があることから、「3・やや遅れている」とした。													

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり

基本施策1 相談支援・情報提供の充実

【評価】は5段階評価(1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	30年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	各相談支援事業所への相談件数（加須市民）						
20	障害者相談 支援事業	【目的】 在宅の障がい者等に対し、在宅福祉サービスの利用援助、社会資源の活用及び社会生活を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談、情報の提供等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援する。	・福祉サービス等利用援助 ・社会資源活用支援 ・社会生活能力向上支援 ・専門機関等の紹介 ・訪問による継続的なモニタリング ・ネットワーク会議（事業所・3市担当者） ・障害者相談員による相談会	1・ 達成済	指標(単位)	各相談支援事業所への相談件数（加須市民）						・平成26年度より、北埼玉障害者生活支援センター（幸生会・共愛会）はいずれも、3障害すべての相談支援を行っている。 ・委託料の負担割合は羽生市・行田市との3市における人口割・手帳所持割・相談件数割の合計で算出している。 ・引き続き幅広い相談を受け付ける。 ・困難事例への対応は、事例検討会で情報共有し、相談支援の質の向上に役立てる。
					年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)	
					目標	—	1,667	1,725	1,776	1,826	1,876	
					実績	—	2,485	2,917				
21	ホームページ・ SNS活用事業	【目的】 ホームページやSNSを活用し、世界に向けてタイムリーかつスピーディーに加須市の情報を発信し、加須市の認知度を高める。	デザインを一新し、システムをリニューアル（平成29年12月20日）してから1年が経過し、市内外への定着を図ることができたが、随時改良を加えている。 また、情報発信については、従来のSNSに加え、インスタグラム、ラインを導入し市民への一層の情報機会の拡充を図った。	1・ 達成済	指標(単位)	市のホームページの月平均閲覧件数						・ホームページについては、閲覧者にとって「見やすい、分かりやすい、親しみやすい」内容に随時改良加えていく。 ・情報発信について今後も、調査、研究を重ね情報機会の拡充を図る。
					年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)	
					目標	—	202,000	204,000	206,000	208,000	210,000	
					実績	—	280,557	252,415				
21	シティプロモーション課	【概要】 更新状況を把握し、各課に対し更新の働きかけを行う。 見やすく分かりやすいホームページ作成に取り組むため、庁内研修を実施するとともに閲覧者からのホームページに対する意見を担当課に伝える。 また、SNSで旬な情報や動画をタイムリーかつスピーディーに発信する。		1・ 達成済	指標(単位)	市のホームページの月平均閲覧件数						【評価の理由】 市のホームページの月平均閲覧数は前年度（花咲徳栄甲子園優勝）を超えられなかったが、過年の推移を超える閲覧数を維持している。
					年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)	
					目標	—	202,000	204,000	206,000	208,000	210,000	
					実績	—	280,557	252,415				

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり

基本施策2 高齢者、障がい者、子育て支援サービス等の充実

【評価】は5段階評価（1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	30年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	民間保育所定員数 (人)						
22	民間保育所 運営委託事業	【目的】 保育を希望する乳幼児の保育を委託し、子育てと仕事の両立を支援するとともに、保育サービスの充実を図る。	・適正な給付費（当面は委託料）の支出 ・各種加算の認定	1・ 達成済	指標(単位)	民間保育所定員数 (人)						・各種加算項目の適正な認定を行う。 ・教育・保育施設型給付費の適正な管理を行う。
	年度	28年度	29年度		30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)				
	目標	—	1,531		1,531	1,531	1,531	1,531				
	実績	—	1,531		1,531							
	保育幼稚園課	【概要】 保育所で保育の利用を行った場合、国が定める公定価格に基づいて、給付費を各保育所に支出する。（市内公立保育所を除く） ※なお、公定価格は入所児童の年齢、保育所の規模、場所、運営状況により決められている。			【評価の理由】 平成30年度の民間保育所定員数は目標どおり1,531人となり、待機児童数ゼロも維持し、保育サービスの充実に資することが出来た。							
23	公立保育所管理 運営事業	【目的】 公立保育所において、保育を必要とする児童の保育を実施し、子育てと仕事の両立への支援を行う。	保育を希望する乳幼児の保育を公立7保育所で実施した。 平成30年度も待機児童0人を達成した。	1・ 達成済	指標(単位)	公立保育所入所待機児童数 (人)						・施設設備の補修・更新を行い、入所児童が安心して過ごせるために、保育環境を整備する。 ・月途中入所に対応するため、引き続き臨時職員（保育士）の確保に努める。
	年度	28年度	29年度		30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)				
	目標	—	0人		0人	0人	0人	0人				
	実績	—	0人		0人							
	保育幼稚園課	【概要】 公立保育所（7ヶ所）の運営管理。 公立保育所の保育時間 第一保育所、こすもす保育園、第三保育所、第四保育所（7:30～18:30） 騎西保育所（7:30～18:30） 北川辺保育所（7:30～19:30） わらべ保育園（7:30～19:30）			【評価の理由】 保育を必要とする児童の保育を行うことにより、仕事を持つ保護者に対する子育て支援が図られた。また、平成30年度中、待機児童ゼロを維持したため。							

【評価】は5段階評価(1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	30年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	産後支援ヘルパー派遣事業利用者実人数 (人)						
24	産後支援 ヘルパー 派遣事業	【目的】 核家族化や子育ての孤立化が 進行する中、産後支援ヘルパー を派遣し、出産後間もない産婦 に対し、安心した環境で子育て ができるよう支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・出産後、家事援助が受 けられない方に、ホーム ヘルパーを派遣。 ・すくすく子育て相談 室、保健センター、市民 課、各総合支所市民福祉 健康課の窓口や、パネル 展示の際にチラシを配布 し周知を図った。 	1 ・ 達 成 済	年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> ・HP、子育て配信メー ル、子育てワクワクフェ ア事業を通し、事業周知 を継続的に行っていく。 ・平成27年度から派遣期 間を1箇月から3箇月に 延長し、派遣回数も15 回から30回に増やし た。また、平成30年度よ り1日のヘルパー派遣期間 を9:00~16:00から1時 間増やし9:00~17:00と した。今後も利用者の要 望等を聞きながら社会福 祉協議会と連絡調整を図 る。
	目標	—			7人	9人	10人	10人	10人			
	実績	—			7人	11人						
	【評価の理由】 利用期間を延長したことで里帰り出産後も利用できるようになり申請件 数は増えた。万が一に備え申請するケースもあり、潜在的な需要は多い。 利用者数、利用時間共に平成30年度の計画目標を達成できたため。											

加須市地域福祉計画・地域福祉活動計画 進行管理調書（実施状況報告書）

基本目標4 福祉サービスが利用しやすい仕組みづくり

基本施策3 地域福祉の仕組みづくり

【評価】は5段階評価(1達成済、2概ね順調、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手)

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	30年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由						事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	地域ケア個別会議の開催回数 (回)						
25	地域ケア会議 推進事業	【目的】 高齢者又はその家族に対し、 相談及び各種のサービスを実施 している機関が連携を図るた め、地域ケア会議を設置し、 もって地域の要介護高齢者等 の福祉の向上を図る。	・高齢者相談センターご とに地域ケア会議を開催 し、支援困難事案の解決 及び地域の支援体制を構 築 ・新たに自立支援型地域 ケア会議を設置・開催	1 ・ 達成 済	指標(単位)	地域ケア個別会議の開催回数 (回)						・高齢者の自立、要介護 状態になることの予防又 は要介護状態の重度化の 防止に向けて、高齢者相 談センターごとに開催す る地域ケア個別会議及び 市主催の自立支援型地域 ケア会議において、介護 支援専門員のケアマネジ メントの質の向上及び地 域課題の把握・検討に取 り組んでいく。
					年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)	
					目標	—	40	40	40	40	40	
					実績	—	25	57				
26	地域ブロンズ 会議事業	【目的】 自分でできることは自分で行 う「自助」と、自分たちの住ん でいる地域のことは地域で行う 「共助」の範囲をできる限り拡 大する。	・第1層協議体を設置 (市介護保険運営協議会 を開催 ・地域で高齢者を支え合 う仕組みづくりについ ての啓発(フォーラム・ ワークショップ・出前講 座等の開催等) ・既存の地域ブロンズ会 議の運営支援等 ・第2層(社会福祉協議 会の支部の区域)の地域 ブロンズ会議の発足支援 (水深、志多見)	3 ・ やや 遅れ てい る	指標(単位)	地域ブロンズ会議(第2層)の設置区域数(累計) (区域)						・第2層の地域ブロンズ会 議の設置を促進するた め、令和元年度から各高 齢者相談センターに地域 ブロンズ会議の運営支援 業務を委託した。 ・生活支援コーディネ ーター及び高齢者相談セ ンターとの連携を一層推 進する。
					年度	28年度	29年度	30年度 (決算)	R1年度	R2年度	R3年度 (目標年)	
					目標	—	0	4	10	16	16	
					実績	—	0	2				
					【評価の理由】 これまでの個別ケア会議に加え、新たに自立支援型地域ケア会議を設置 し、会議における事例検討を通じて、保険者としての介護予防ケアマネジ メントの考え方を周知するとともに、多職種(医師、歯科医師、薬剤師、 理学療法士、作業療法士及び管理栄養士)の助言を与えることによって、 介護支援専門員の介護予防ケアマネジメントの質の向上を図ることができ たため。							
					【評価の理由】 社会福祉協議会支部単位での地域ブロンズ会議(第2層)の発足数が目 標値に達しなかったため。							

